

## 第7 圧縮天然ガス等充てん設備設置給油取扱所の基準（規則第27条の3又は第27条の4）

圧縮天然ガス等充てん設備設置給油取扱所の基準は、規則第27条の3又は第27条の4の規定によるほか、平成29年1月26日消防危第31号による改正後の平成10年3月11日消防危第22号「圧縮天然ガス等充てん設備設置給油取扱所の技術上の基準に係る運用上の指針について」によること。

キャノピーの水平投影面積の計算をするときには、高圧ガス関連設備に係る上屋も給油取扱所のキャノピーに合算する。（平成10年、中消会）

### 1 変更工事における取扱い（平成23年指危第7号）

高圧ガス保安法の適用を受ける設備等（以下「高圧ガス設備」という。）のみの変更工事においても消防法及び高圧ガス保安法の手続が必要となり、内容によっては変更許可を要する場合がある。また、その判断については、「製造所等において行われる変更工事に係る取扱いについて（平成14年3月29日消防危第49号）」（以下「49号通知」という。）により取扱うこととする。

- (1) 危険物の規制に関する規則（以下「危規則」という。）第27条の3第6項第4号（危規則第27条の4第1項において準用するものを含む。）に掲げる圧縮天然ガススタンド（製造設備が製造施設の外部から圧縮天然ガスの供給を受ける圧縮天然ガススタンドである製造設備に限る。）を設置している場合

圧縮天然ガススタンドは、一般高圧ガス保安規則第7条第2項で規制されており、危規則の規制と重複しているため、以下に掲げる項目に変更がなく、高圧ガス設備の変更のみの場合は、高圧ガス保安法の変更許可証を確認できれば、49号通知にいう「保安上の問題を生じない変更」に該当し、「資料提出を要する軽微な変更」として運用して差し支えないものとする。なお、軽微変更報告書提出時には、高圧ガス保安法の変更内容及び許可証の写しを添付させること。

ア 位置（配管も含む）に係る技術上の基準に変更がないこと。

イ 建築物又は工作物の技術上の基準のうち、防火上又は強度上の理由から必要とされる基準に変更がないこと。

ウ 可燃性蒸気又は可燃性微粉の滞留するおそれのある範囲に変更がないこと。

- (2) 危規則第27条の3第6項第5号（危規則第27条の4第1項において準用するものを含む。）に掲げる液化石油ガススタンドを設置している場合

液化石油ガススタンドは、液化石油ガス保安規則第8条で規制されているが、危規則の規制とは重複していないため、高圧ガス設備の変更のみの場合でも、危規則の基準に適合しているかを審査しなければならないため、変更許可を要する。ただし、同等のものへの交換の場合、49号通知にいう「保安上の問題を生じない変更」に該当する場合もあるため、疑義が生じた場合は指導課危険物係と協議すること。